

「石狩川雨竜区域」事後評価 第2回第三者委員会議事録

1. 実施日 平成19年7月13日(金) 10:00～14:10

2. 場所 (独)緑資源機構第1・2会議室

3. 出席者

第三者委員 井上 京 北海道大学大学院 准教授

” 志賀 永一 北海道大学大学院 准教授

” 中嶋 康博 東京大学大学院 准教授

” 溝口 勝 東京大学大学院 准教授

” 森 久美子 作家・エッセイスト

(敬称略、五十音順)

委員会関係者 農林水産省農村振興局総務課課長補佐

(独)緑資源機構顧問 ほか

4. 議事の概要

(1) 事後評価結果の説明

区域の「事後評価結果(案)」について事務局より説明

(2) 意見・指摘等

- ・本事業によって地域内の総合的な排水ネットワークが完成した。
- ・地元農家の維持管理への積極的な参画が事業効果を高めている。
- ・本事業により家屋等への洪水被害が減り、非農家も含めた地域住民の安全・安心感を与え、生活環境の改善にも貢献している。
- ・事業概要の目的が、湛水被害の解消、水田の汎用化、農業経営の安定化であることを明示すべきである。
- ・事後評価における単価と単収の比較は、現時点と計画変更時との比較であることがわかるように記載すべきである。
- ・事業効果を持続させるためには、地域をあげた排水施設の適切な維持管理の継続が重要である。

以上のことを踏まえ、第三者委員会の意見のとりまとめが行われた。